授業科目名・形態	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	必修・選択	必修	単位数	2
科目担当者氏名	田中　誠	実務経験有無	有	開講期	2年後期
科目ナンバリング	W4-2002sp　R				

「授業の主題」相談援助の様々なモデルとアプローチの知識と技術について理解する。多様なクライエントが抱える多様な問題はケースによって適用モデルやアプローチを選択することも必要である。それぞれのモデルやアプローチの基礎を学ぶこと。

「到達目標」

支援対象者への共感的理解を通して、対等性、相互関係性を大切にする援助者としての姿勢を培う。またこれまでの豊富な実践例をテキストの内容に当てはめ、理論の解説を講義の内容としたい。さらに国家試験をも視野に入れた講義も試みたい。

「授業計画・内容」

第　１回　医学（治療）モデル
第　２回　ストレングスモデル
第　３回　心理社会モデル
第　４回　機能的アプローチ
第　５回　問題解決アプローチ
第　６回　課題中心アプローチ
第　７回　行動変容アプローチ
第　８回　認知行動アプローチ
第　９回　危機介入アプローチ
第１０回　エンパワーメントアプローチ
第１１回　ナラテブアプローチ
第１２回　解決志向アプローチ
第１３回　さまざまなアプローチ（アドラー心理学、実存主義アプローチ）
第１４回　さまざまなアプローチ（交流分析アプローチ）
第１５回　まとめ

「授業実施方法」　講義形式

「授業事前・事後」事前に教科書を読んでおくこと、アンダーラインを引いたところ復習すること

「主な関連する科目」ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ

「教科書等」　最新社会福祉養成講座 12 ソーシャルワークの理論と方法「共通科目」中央法規

「参考文献」随時、講義の中で紹介する

「成績評価方法」　筆記試験又はレポート８０％、授業態度２０％により総合的に判断する

「実践経験及び実務を活かした授業内容」

４０年以上の実務経験で様々な相談援助を実践しており、あらゆる場面を想定し学生がどのように対応するかを考える機会を提示したい

「学生へのメッセージ」様々なアプローチを学ぶ機会となるが１つのアプローチでは援助は困難なときもある。各アプローチの優位側面を組み合わせて援助することが大切である。